

海外安全対策情報（香港・マカオ）

1 2014年10月～12月の間に邦人が巻き込まれた犯罪

2014年10月～12月の間の在香港日本国総領事館管轄域内における日本人の犯罪被害件数は、24件でした（当館把握分）。被害内容は、窃盗による被害が最も多く、駅の構内や改札・バス停付近等で荷物から目を離した隙に旅券等の貴重品を持ち去られるなどの被害が見受けられました。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

日本人の被害は報告されていません。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件の発生は報告されていません。

4 対日感情

一般的には良好ですが、先の大戦に関連して我が国に対する要求を行う団体、尖閣諸島に関して中国の領有権を主張する団体等による抗議活動は、依然として継続されており、引続き注意が必要です。

5 日本企業の安全に関する諸問題

特段の問題は報告されていません。

6 治安情勢

香港・マカオ、両地域の最新の政府発表による犯罪発生件数を前年同時期等と比較したところ、香港及びマカオともほぼ横ばいの傾向が続いており、治安情勢は比較的安定していると言えます。

（1）香港警察発表による2014年の犯罪発生件数

2014年の犯罪発生件数は、67,740件で、前年より5,171件少なくなっています（約7%減少）が、犯罪発生件数が減少する中、恐喝事件（885件、約20%増加）と詐欺事件（8,861件、約18%増加）については増加の傾向が顕著であり、特に注意が必要です。

（2）マカオ保安司発表による2014年の犯罪発生件数

2014年の犯罪発生件数は、14,016件で、前年より約2%増加しています。この中で、詐欺、高利貸し、恐喝等の犯罪（7,843件、約2%増加）と傷害、逮捕監禁、脅迫等の身体犯（2,718件、約8%増加）についてはそれぞれ増加して発生しており、特に注意が必要です。